

当センターの職業訓練を受講後、アサゴエ工業株式会社様に就職され、人事・総務を担当されている大岡 俊輔様（ICTシステムサポート科 平成28年1月生）と、中島 健介様（生産管理技術科 平成29年9月生）のお二人に現在のお仕事等について、お話を伺いました。

さらに、大岡様の上司の総務部 御津総務チーム 主任 守谷 伸樹様と、中島様の上司の鑄造品質管理部 御津工場品質管理 主任 大月 伸正様に採用やお二人の仕事ぶりについて、お話を伺いました。



（左から、守谷様、大月様、
中島様、大岡様）

* * * * *

総務という仕事であることと、ネットワークの知識も活かせる機会がありそうだったので、就職を決めた。

ICTシステムサポート科を受講された大岡様に、現在のお仕事や就職の経緯などについてお話を伺いました。

◇現在のお仕事は？

- 人事・総務（正社員）です。勤怠管理、労災発生時の対応、保護員の管理、安全衛生会議の進行等を担当しています。

◇前職は？

- 警察官です。警察学校での訓練を受講していました。

◇就職されて、いかがですか？

- 就職して2年6ヶ月になります。想像していなかったような雑務もあったし、思っていたよりも従業員が多く、顔を覚えるのが大変ですが、顔を覚えてもらえるとうれしいです。
工場の仕事全体を見たりするので、世代や性格が異なるさまざまな従業員とコミュニケーションがとれて楽しいです。

◇職業訓練を受講しようと思われたのは？

- 元々IT分野に興味があったからです。もし、受講してIT分野への就職を選択しなかったとしても、ICTシステムサポート科の内容はどの分野でも活かせると思いました。



◇受講の目標は？

- 技術を身に付けたうえで、訓練の内容に関連したIT系の仕事に就くことでした。

◇受講前、ポリテクセンターの印象は？

- ICTシステムサポート科の第1期生ということで、関連した就職先に進めるのか、未経験でも技術を身に付けられるのか、不安なことが多かったです。

◇受講していかがでしたか？

- 技術的なことについて、知らなかったことを多く知ることができました。しかし、カリキュラムが広く浅く構成されているので、関連職種に就職できるのか、そこで働き続けられるのかという不安は、受講する前よりも軽減されましたが、完全に解消されることはありませんでした。

前職を退職後、すぐに次の職に就くのが不安だったこともあって受講したのですが、生活リズムを整えたり、コミュニケーションをとる練習をしたりすることもできて、私にとって6ヶ月間という受講期間がとても有意義でした。

プログラムについては、受講当時のカリキュラムでプログラマーになるのは厳しいと感じました。また、対外的に訓練により習得した能力の証明ができる資格、訓練内容に見合ったレベルの資格がないのも残念に思いました。

◇職業訓練で習得したスキルで、今のお仕事で役立っていることは？

- 工場内のICT化についてその仕組みがおおよそわかるので、何かトラブルが起きたときに、その発生に気付くことができるし、原因の簡単な検討ができます。マクロを含めたExcelの活用、ネットワークの基礎知識、PC操作全般の知識は、今の仕事に役立っています。こうした知識があるので、ネットワーク等の社内の専門部署との仲介もできます。

◇就職活動や当センターの就職支援は、いかがでしたか？

- 私は弊社1社を受けて就職が決まったので、利用する機会が少なかったです。応募書類作成のポイントや作成例が記載されたテキストや応募書類のフォーマットがあって、非常に助かりました。面接練習ができるのもよかったです。

◇就職決定の決め手は？

- 総務という仕事であることと、ネットワークの知識も活かせる機会がありそうだった

たので、就職を決めました。

内定の連絡も早かったし、工場長や部長が面接をされたのですが、フランクで、気持ちよく働けると思いました。

◇今後の目標は？

- 一 この2年でいろいろな方とコミュニケーションを取りましたが、仕事をより円滑に行えるよう、コミュニケーションを一層密にしていきたいです。

◇就職活動中の方や職業訓練を受講されている方にメッセージをお願いします。

- 一 私は気力的な面でも仕事が続かないと思ったため、訓練を受講して、生活リズムなど体調を整えました。やってみたい仕事と訓練内容が関連しているなら、本当にやってみたいのか、訓練内容はひとつの判断基準になります。座学だけでなく、実習やグループワークもあるので、その仕事に向いているのかそうでないのかも判断できます。

面接等では、就活マニュアルにあるような模範回答より、素の自分を見せられればいいと思います。働くのは、素に近い自分だから。

面接練習でいろいろ指摘されたとしても、落ち込まずにあくまでも参考という捉え方をすればいいです。担任の指導員や同じクラスの人のアドバイスを聞くのも有効です。

* * * * *

苦手なことを克服できたことで、苦手なことにトライできるようになった。

生産管理技術科を受講された中島様に現在のお仕事や就職の経緯などについてお話を伺いました。

◇現在のお仕事は？

- 一 品質管理（正社員）です。社内への周知文書を作成したり、顧客に工程の変更の連絡や提案をしています。不良品などのデータを集計した結果を上長に報告したり、不良品の改善等も担当しています。

◇前職は？

- 一 農機具を製造する事業所で派遣社員として勤務し、直近では倉庫内で部品の仕分けや備品等の整理をしていました。

◇就職されて、いかがですか？

- 平成30年2月に入社して 11 ヶ月になります。上司はやさしく、そして、厳しいです。わからないことは聞けば丁寧に教えてもらえますし、間違えれば指導されます。職場や仕事内容は、入社前に思い描いていたような感じです。

生産管理技術科でも品質管理は学びましたが、弊社は製造なので、扱っている物自体が職業訓練とは全く違います。毎日新しいことを知ったり、学んだりしています。そういう意味では、職業訓練でも毎日新しいことを学ぶ連続でしたが、今はその延長という感じがします。



◇職業訓練を受講しようと思われたのは？

- 派遣で働いていたときに、派遣会社の担当の方から「次は生産管理をやって欲しい」と言われましたが、退職したので、結局しませんでした。「生産管理」という言葉を初めて聞き、興味を持ちました。ハローワークでチラシを見て、ちょうどポリテクセンターの生産管理技術科が募集されていたので、受講しようと思いました。

◇受講の目標は？

- すべてが初めてのことなので、受講したものはすべて吸収しようと思っていました。

◇受講していかがでしたか？

- ハローワークでチラシを見るまで、ポリテクセンターのことは何も知りませんでした。親から「職業訓練」という言葉を聞いていただけで、生産管理とは何か、全く知りませんでした。

クラスは和気あいあいとしていて、20代から60代まで年の差に関係なく、仲が良かったです。グループ課題がいくつかあり、課題ごとにグループでの役割を与えられます。私は、班長と副班長を担当しました。先生が役割を決めましたが、“できる人がやる”みたいな感じで、誰もやりたがらないものを担当しました。

先生の説明はわかりやすく、全く何も知らない私にも理解でき、丁寧に指導していただきました。訓練で学んだことをどの仕事でどのように活かせばよいかを考えながら仕事をしています。

◇習得したスキルは？

- 人の名前を覚えることができるようになりました。人の名前を覚えることが元々苦手な人で、コミュニケーションクラブ（※）で、人の名前を覚えるのが苦手だという話をしたら、参加者から「人に興味がないからではないか」と指摘されました。凶星だったので、かなりショックでした。でも、人に言われないとわからないことでした。指摘されたときはショックでしたが、苦手なことを克服できたことで、苦手な

ことにトライできるようになりました。コミュニケーションクラブに参加してよかったです。

※コミュニケーションクラブとは、月2回開催しているサークル活動です。異なる科の方同士が、受講や就職、趣味などについて話をする場となっています。希望があれば、コミュニケーションや面接の練習もしています。

◇現在の仕事で役立っていることは？

- － 弊社の品質保証は、一人前になるには7～8年かかると聞いています。私はまだ上司の補佐で仕事をしているので、自覚はありませんが、品質保証の仕事で、客先対応に役立っているようです。

◇就職活動や当センターの就職支援は、いかがでしたか？

- － 私は2社しか応募していません。就活に慣れている人はどんどん応募していました。私はこれまで就活をした経験がなかったので、もう一步踏み込んで欲しかったです。「活動してください」と言われましたが、自分から相談できませんでした。求人検索、書類作成、面接練習など、その都度日時を指定して呼び出してもらえたら、活動しやすかったのではないかと思います。

◇就職決定の決め手は？

- － 指名求人（※）をいただき、応募しました。応募前に工場見学をしました。職場を見て働く環境がわかったし、説明を聞いて品質管理の仕事内容がイメージできました。組立の経験があったので、そのとき触っていた部品の材料を見て、楽しそう、やってみようと思いました。材料の成分分析の仕事があれば、学生時代の専門が化学系だったので、その知識が活かせると思いました。新しいことをやりたいという気持ちでした。

※希望職種など求職者の情報を事業所に提供し、受講者を指定してご提供いただく求人です。

◇今後の目標は？

- － 当面の目標としては、上司の仕事をひとつでも任せてもらえるようになりたいです。

◇就職活動中の方や職業訓練を受講されている方にメッセージをお願いします。

- － 怖がらずに新しいことにチャレンジしてください。
新しいことにチャレンジするのは、正直怖いですが、でも、一歩踏み出したら、周りの人はやさしかったです。派遣で働いていたときは、指示されたことをしているだけで受け身でした。ポリテクセンターで、訓練やコミュニケーションクラブで新しいことにチャレンジするようになりました。
知らなかったことを知ったり、できなかったことや苦手だったことができるように

なると楽しいです。

* * * * *

大岡さんは、従業員と積極的にコミュニケーションをとっており、社風に合っている。

中島さんは、仕事に対する姿勢が前向きで、お客さんから悪い評価がない。

大岡様の上司の守谷主任と中島様の上司の大月主任に、それぞれの仕事ぶりや採用の決め手、今後の採用についてお話を伺いました。

◇事業内容は？

- －（守谷主任）鋳鉄鋳物（FC・FCD・FCV）の大量生産や多品種少量生産と機械加工です。建設機械用油圧部品、産業機械部品、農業機械部品、鉄道用ブレーキ部品、自動車用ブレーキ部品を製造しています。



写真提供 アサゴエ工業株式会社様

◇お二人の採用の決め手は？

- －（守谷主任）工場見学時に、大岡さんが社員に気さくに話していたこと、そして、人柄がよさそうという印象を受けたことです。

（大月主任）私は中島さんの採用に直接関わっていないのですが、中島さんが真面目で実直だからではないでしょうか。入社後2ヶ月間の研修で、お客さんのところに出向いて仕事をしてもらいましたが、お客さんから悪い評価がありませんでした。

◇お二人の仕事ぶりは？

- －（守谷主任）大岡さんは、総務全般、さまざまな管理業務を担当しています。現場の応援をすることもあります。
総務の仕事は、人とのコミュニケーションが一番大事です。仕事上、どうしても社員に嫌われることが多いですが、彼についてはそういった様子が見受けられません。

現場への協力姿勢も非常に良い。

(大月主任) 中島さんは、週2日客先で品質を確認しています。不具合品を調査し、報告書類を作成します。内容を確認しながら、言われたことを素直にきちんとするし、仕事を前向きに捉えてやっています。毎日違うことが起きるから、多種多様な対応をしなければならないので、プレッシャーを感じながら仕事をしていると思います。

中島さんはどちらかというと口下手なところがありますが、いい意味で味があります。品質管理はお客さんとやりとりしながら仕事を進めるので、お客さんとうまく、深く付き合っていかなければなりません。品質管理部に6名社員がいますが、中島さんはなかなかの逸材です。

◇お二人は、御社が求めている人材？

- (守谷主任) 大岡さんは、職人気質の従業員や外国人の従業員とも積極的にコミュニケーションをとっており、社風に合っています。弊社にいて欲しい人材です。

総務の仕事は仕事の幅が広いので、即戦力という訳にはいきませんが、定例の業務はきちんとできています。

総務も品質管理も、ルーティンワークではなく、毎日違うことが起きるし、総務の仕事では年に1回、数年に1回という仕事もあり、10年担当しても、スムーズにできない仕事もあります。



(大月主任) 中島さんは十分頑張っています。仕事に対する姿勢が前向きで、意識が高く、お客さんから悪い評価がありません。

◇お二人に期待されていることは？

- (守谷主任) 大岡さんは、まだ粗削りの部分が多いです。ミスは許されないなので、ひと呼吸おいて確認したうえで行動して欲しい。今後は、顧客との対外的な対応もして欲しいし、もっと積極的にいろいろな仕事に関わってもらいたい。

(大月主任) 職業訓練で品質管理などの知識を習得していても、鑄造は特殊な世界だから、専門的な知識・技術という点では、他の未経験者と同じです。お客さんとの中長期の付き合いの中で徐々に成長して欲しい。

今は補助業務をしていますが、1、2年後は客先でコミュニケーションがとれて、2、3年後は、自分のお客さんを持って、一人で対応できるようになって欲しい。そして、将来は、会社の中で中核になって欲しいです。

◇職業訓練を受講されて、仕事に役立っている点は？

- 一 （守谷主任）総務の仕事に必要な資格があれば別ですが、そうではないため、総務では訓練内容をストレートに活かせる仕事はないと思います。

（大月主任）前向きな姿勢と仕事に対する意識の高さです。

◇当センターに期待することやご要望は？

- 一 （守谷主任）総務に限らず、元気で明るく、人当たりが良い人材を育成して欲しいです。体力面や気候などの環境面で適応力の高い方をぜひ紹介して欲しい。弊社はポリテクセンターの講習（※）を利用していますが、衛生管理者の資格を取得できる講習があるとよいと思います。衛生管理者や公害防止管理者など、従業員数によっては資格者を配置しなければならないものがあり、若い人に資格を取得してもらいたいと考えています。

※当センターでは、求職者の方を対象とする職業訓練のほか、在職者の方を対象として、業務に必要な技術・技能・知識のレベルアップを図るための短期間の職業訓練（能力開発セミナー）を実施しています。

<http://www3.jeed.or.jp/okayama/poly/zaishoku/index.html>

（大月主任）前向きな姿勢とプラス思考で、指示されて動くのではなく、自分から物事に取り組めるように育成して欲しいです。

生産管理技術科の訓練内容は、「広く、浅く」でよいと思います。深くとなると、業種が絞られるから。生産管理や原価管理は、品質管理の業務にも関連があります。品質管理の手法は知っている業務にプラスになります。自分ひとりで品質管理の仕事をするようになると、生産管理・品質管理・原価管理の知識は必要になります。



◇当センターの修了生以外で、未経験で入社された方は？

- 一 未経験者の方が多いです。製造業の経験者はいますが、鑄造の経験者はまずいません。従業員の前職は、製造、営業、食品関係、接客、販売、美容師などで、たいいていの職種が揃っているのではないかと思えるくらい多種多様です。

◇採用にあたり、重視されていることは？

- 一 仕事に対する姿勢です。ものづくりに関わる仕事をしていこうという姿勢を重視します。そういう姿勢があれば、新しいことを身に付けられます。経験や資格はなくても弊社の業務に従事できますが、仕事の特性上、やる気と体力は必要です。

◇政府の女性活躍推進の施策に基づいて、当センターには女性求職者を対象とした「CAD・ものづくりサポート科」があります。女性の就業についておたずねします。御社には女性はどのくらいおられますか？

- 一 御津工場は15名程度です。重量物は女性は体力面で扱えないので、事務職の割合が多く、軽作業を含む事務を担当しています。御津工場には、勤務年数が22年になる女性がいます。

経験者では、他業種の事務経験者が事務を、鋳造以外の製造業の経験者が加工現場を、CAD経験者が技術・品質管理を担当しています。

◇男性と女性で、能力や意欲などに違いはありますか？

- 一 体力面ではどうしても男女で差がありますが、意欲に男女の差はありません。現場作業を見ていると、女性は根気よくコツコツと仕事をします。品質管理では、データ収集は根気強さが必要ですが、正確に仕事をしてくれます。「自分の仕事は自分がするもの」と、任された仕事に対する責任感が強く、仕事に対する意欲もあります。

◇今後、女性を採用される予定や計画は？

- 一 あります。しかし、中途採用では、業務内容の面からハードルが高いようで、応募者がありません。最近では、新卒採用で応募者がありません。

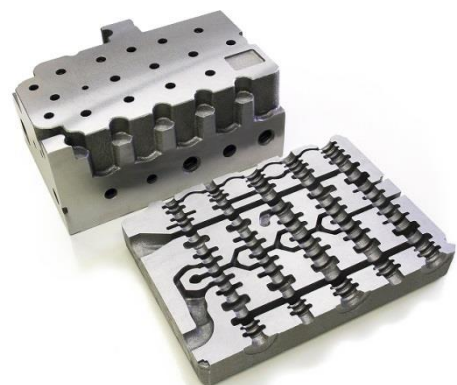
◇ものづくり分野への就職を希望・検討している方にメッセージをお願いします。

- 一 (守谷主任) 鋳造はなかなかない業種で、イメージしにくい仕事かもしれません。鉄が溶けて製品になるので、化学が好きな人に向いている世界です。思い通りのものができたとき、できなかったとき、それぞれやりがいや楽しさがあります。日々する仕事が違うので、オートメーション化された仕事よりおもしろいと思います。

また、チームワーク、連携が非常に大事で、それぞれの部署がファミリーのようで、部署ごとの団結力が強いです。弊社には、正社員、

派遣社員、外国人労働者がおりますが、分け隔てなく、対等であり、それをモットーにしています。年1回、パーベキュー大会も開催し、社員同士親睦を深めています。私自身転職組ですが、人間関係が嫌で入社したくないと思ったことがありません。

弊社は製品を一人で作っている訳ではなく、事業の目的はよりよい製品をつくること、そして社員全員でそれを成し遂げるということを意識して、社員は各々の業務に従事しています。だから、団結力があり、人間関係がよいのだと思います。



写真提供 アサゴエ工業株式会社様

(大月主任) 鋳造では、全く同じ製品はひとつとしてありません。一朝一夕で積みあがるものではなく、奥深い世界だから、ずっと仕事を楽しめます。品質管理の仕事では、不具合があるとその原因を追究して、解決しなければならぬため、探究心が必要ですが、解決すると達成感があります。

アサゴエ工業株式会社

所在地：(本社) 岡山県岡山市南区箕島 557-4

設立：1964年9月1日

資本金：3,300万円

従業員数：479名(男性446名/女性33名)

事業内容：農業機械部品・自動車部品等の製造

売上高：87億円



写真提供 アサゴエ工業株式会社様

= ICTシステムサポート科担当から =

クラスのムードメーカーとして、また誰に対しても分け隔てなく接して、周りを明るく雰囲気にしてくれた大岡さん。昨年調査の協力を依頼するために電話をかけたときも、心のこもった声で「おはようございます～」と対応してくれました。訓練で学んだICT技術を活かし、最先端の技術を習得しながら、社内の情報システム推進者として、また、会社の顔として、これからもご活躍されることを期待しています。

ICTシステムサポート科第1期生が修了して、早や2年半が経ちます。大岡さんもお元気で、活躍されており、私自身もうれしく思います。

= コミュニケーションクラブ担当から =

「“ナカジマ”ではなく、“ナカシマ”です。よく間違われますが、濁りません。」と自己紹介されたあと、「人の名前を覚えるのが苦手です。」と続けられたときは、内心ずっこけました。参加されていた方々も一瞬言葉を失っていました。ご自身がおっしゃっていますが、他の科の方から「その人に興味がないんじゃないですか。どんな人なのか興味があったら覚えますよ。」と厳しいツッコミが入り、気落ちされたご様子だったのを今でもよく覚えています。しかし、次の回の冒頭で、「中島さんと食堂で会ったとき、名前を言ってもらえましたよ。」と、前回参加された方が弾んだ声で報告されました。中島さんは回を重ねるうちにファシリテーターを務められるようになり、ご自身の発言で気になることがあると、終了後アドバイスを求めていました。誰かに指示

されたのではなく、ご自身の意思でコミュニケーションクラブに参加し、苦手を克服されました。

勇気を出して新たなことにチャレンジして何かを得るという経験をされた中島さん、会社の中核としてご活躍される日を楽しみにしております。

(取材後記)

- ◎守谷様、大月様、そして総務部の安井様、12月のお忙しい時期にも関わらず、取材にご協力いただき、ありがとうございました。守谷様、大月様が語られる様子と取材を見守られる安井様のご様子から、「分け隔てなく対等であり、それをモットーにしている」、「社員全員でよりよい製品をつくる」という社風を肌で感じることができました。お話を伺いながら、社員のみなさまが楽しくバーベキューをされている光景が目に浮かびました。
- ◎守谷様も大月様も、大岡様と中島様の長所を評価しつつ、課題も厳しく指摘されていました。お二人への期待が大きいと感じましたし、お二人だけにではなく、きっと他の社員の皆様にも同じように期待されているのではないのでしょうか。

<2018年12月>